



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2024年(令和6年)9月15日号

No.1968

目次

■ 2024年ロシア統一地方選挙結果速報	1
■ キーパーソン	10
ウクライナ、侵攻後初の大幅内閣改造 / 10	
■ エトセトラ	12
情報提供セミナー「制裁下ロシアの金融市場の現状と見通し」 / 12	
■ トピックス	12
東方経済フォーラムが開催 / 12	
米英、対ロ制裁を拡大 / 12	
アークエッジスペース、キルギス・タジクと共同研究で合意 / 12	

2024年ロシア統一地方選挙結果速報

(一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 主任
中馬 瑞貴

はじめに

2024年9月6～8日にかけて、ロシアで統一地方選挙が行われた。今回は21連邦構成主体(=地域)で首長の直接選挙、13地域で構成主体議会選挙、21地域の行政中心都市で市議会選挙が行われ、これらを含めてロシア全体で約4,000の投票が行われた。全国で2,700万人以上の有権者が投票に参加し、全体の投票率は47.1%と2013年以来の最高となった。8月のウクライナによる越境攻撃の影響で、非常事態宣言が発令されたクルスク州の一部地方自治体で選挙が中止になったものの、同州知事選挙は予定通り行われた。以下では、今回の統一地方選挙の概要と9日にロシア中央選挙管理委員会が発表した暫定結果、選挙に対するロシアの政治家、専門家による評価をまとめる。

なお、ロシアによる一方的な2014年のウクライナ領クリミアの併合および2022年のウクライナ4地域併合は国際的に承認されていないが、本稿は主にロシアの情報源に依拠しているため、クリミア共和国、セヴァストポリ市の選挙結果も含まれている(ドネツク人民共和国、ルガンスク(ルハンスク)人民共和国、ザポロジエ(ザポリージャ)州、ヘルソン州では選挙は実施されていない)。しかし、当然のことながら、ロシアによるクリミアや占領地域の併合を是認するものではない。